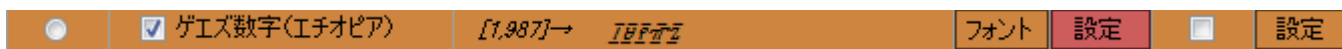


◆◆◆ ゲエズ数字 Ge'ez (Amharic, Ethiopic) ◆◆◆

ゲエズ数字は、数値の表現にゲエズ文字（ゲーズ文字）を使う方法です。
アフリカ東部のエチオピアなどで、一般に用いられています。



ゲエズ文字(アブギダ)は、元はほとんど消滅したゲエズ語の文字ですが
エチオピアの公用語であるアムハラ語などで、現在も使われています。
(ゲーズ文字、アムハラ文字、エチオピア文字とも呼ばれるようです。)

言語の表記に使われるゲエズ文字には、上下線はありませんが
数値をあらわすゲエズ数字には、上下線が付いた特別な文字を用います。

ゲエズ数字には、コプト数字（4世紀頃～近代までのエジプトで使われていたコプト語の数字。別項）
からの影響があるそうで、そのコプト語はギリシア語からの影響を受けていたようです。

(エチオピアは、エジプトへと流れるナイル川の
スーダンを挟んだ源流側（青ナイル川）に位置しています。
ちなみに現在のエジプトやスーダンで使われているのはアラビア語です。)

表現可能な数値の上限や、文字の選択肢は特にありません。
ゼロの表現はありません。ここでは小数部は無視されます。
負の数ではここでは単純にマイナス符号を付けます。（符号は「追加」ページで選択可）
ゲエズ数字は「記数法1」ページで設定します。



次の例は、電卓で [1, 987] の値を入力して4種類の書式を切り替えて表示したものです。



ゲエズ数字には、文字の上下に、文字ではなく数字であることを示す記号（線）が付きます。個々の文字が持つ値は、次のようになっています。

1	፩
2	፪
3	፫
4	፬
5	፭
6	፮
7	፯
8	፰
9	፱
10	፲
20	፳
30	፴
40	፵
50	፶
60	፷
70	፸
80	፹
90	፺
100	፻
1000	፳፻

アムハラ語が現役の公用語であることから、アムハラ語の表記に用いられるゲエズ文字・ゲエズ数字ともに、多くのフォントが対応しています。

ゲエズ数字の上下にある、両端が下向きに折れている線は、数字の文字自体が持っているものです。もちろんコピーした場合も、上下線つきでコピーされるようになっています。

ゲエズ数字では、続けて書く場合の上下線は横に繋げて、数値の範囲を示すのが基本のようです。

（この「線の繋がり」については、パソコン上では、表示フォントのレベルで処理されます。なお、選択したフォントや設定画面での拡大表示、また当資料でも以下の例示に見られるように環境や表示部品の仕様などによっては、線が繋がらずに、個別に記される場合もあります。）

【基礎】

ゲエズ数字のうち、1~10 [፩ ~ ፲]と 20~90 [፳ ~ ፸፯]、および [100][፲፬]までを「Ahaz」と呼びます。「Ahaz」はゲエズ数字の伝統的な基本セットです。

なお「Ahaz」に入っていない [10000]を示す[፳፻]の文字は、比較的新しいもので [100][፲]が2つ重なった、合成済みの文字(100x100=10000)になっています。

ゲエズ数字では、この[10000][፳፻]の数字を使うか使わないかで、基本的な書き方が異なります。

《伝統的表現》…3桁区切り

[10000][፳፻]の数字を使わない《伝統的表現》の場合は [1000]ごとでの繰り上がりとなり、上下線のない[ሺ]の文字が入ります。

(この場合の[1000]を超える数値は、調査した範囲では実例を見つけることができませんでしたが ゲエズ数字にはギリシア数字やコプト数字の影響があることから、ここでは次のようにしています。)

例《伝統的表現》

[1]	[፩]	(1)
[10]	[፲]	(10)
[100]	[፲፬]	(100)
[1000]	[፳ሺ]	(1x1000= 1, 000)
[10000]	[፲ሺ]	(10x1000= 10, 000)
[100000]	[፱ሺ]	(100x1000= 100, 000)
[1000000]	[፳ሺሺ]	(1x1000x1000= 1, 000, 000)
[10000000]	[፲ሺሺ]	(10x1000x1000= 10, 000, 000)
[100000000]	[፱ሺሺ]	(100x1000x1000= 100, 000, 000)
[1000000000]	[፳ሺሺሺ]	(1x1000x1000x1000= 1, 000, 000, 000)
[10000000000]	[፲ሺሺሺ]	(10x1000x1000x1000= 10, 000, 000, 000)
[100000000000]	[፱ሺሺሺ]	(100x1000x1000x1000= 100, 000, 000, 000)
[1000000000000]	[፳ሺሺሺሺ]	(1x1000x1000x1000x1000= 1, 000, 000, 000, 000)

このように数字が[1]で始まる場合の各桁では [1]=[፩], [10]=[፲], [100]=[፲፬] の数字を使い さらに[1000]の3桁区切りごとに、繰り上がりを示す[ሺ]が付く格好になります。

《近代的表現》…4桁区切り

[10000][፳]の数字を使う《近代的表現》の場合は、[፲]の文字は使われなくなり
[10][100][10000]の数字が、あたかも命数法の命数のように使われます。
(現在はこの方法が主流のようです)

例《近代的表現》

[1]	[፩]	(1)	
[x 10]	[፲]	(10)	
[x 100]	[፱]	(100)	
[x 1000]	[፲፱]	(10 x 100 = 1,000)	
[x 10000]	[፳]	(10,000)	
[x 100000]	[፲፳]	(10 x 10,000 = 100,000)	
[x 1000000]	[፱፳]	(100 x 10,000 = 1,000,000)	
[x 10000000]	[፲፱፳]	(10 x 100 x 10,000 = 10,000,000)	
[x 100000000]	[፳፳]	(10,000 x 10,000 = 100,000,000)	
[x 1000000000]	[፲፳፳]	(10 x 10,000 x 10,000 = 1,000,000,000)	
[x 10000000000]	[፱፳፳]	(100 x 10,000 x 10,000 = 10,000,000,000)	
[x 100000000000]	[፲፱፳፳]	(10 x 100 x 10,000 x 10,000 = 100,000,000,000)	
[x 1000000000000]	[፳፳፳]	(10,000 x 10,000 x 10,000 = 1,000,000,000,000)	

新しい文字[፳]が導入されて4桁区切りとなり、千進法から万進法となったようにも見えますが
[1000]は[10]と[100]とで書くため、百進法であると考えたほうが良さそうです。

ここでは上記2つの書き方を、2種類ずつ提示しています。

《伝統的表現》

- ① ・ 書式1 ・ 基本的な方法 (Ahaz + ሺ)
- ② ・ 書式2 ・ 古典的な表現 (Ahaz + ሺ + ፬ ዳ ቱ)

《近代的表現》

- ① ・ 書式3 ・ 理論的な表現 (not Ahaz, + ፳)
- ② ・ 書式4 ・ 現代的な方法 (Ahaz + ፳)

上記のうち「書式1」と「書式4」は、[1000]未満の数値においては全く同じ表現となっており《伝統的表現》および《近代的表現》の、代表的な書き方といえます。

(「書式2」は実際にあった書き方なのですが「書式3」は実際に使われていない可能性があります)

以下に、個別の説明を加えます。

●書式1・基本的方法 (Ahaz + ሺ)

《伝統的表現》①

1~10 [ሀ ~ ሰ]と 20~90 [ሁ ~ ስ], および [100][፲]の数字(Ahaz)を用います。
 [1000]倍ごとに、繰り上がりを示す[ሺ]の文字が入ります。

例1 ([1000]未満の数値)

- [11] → [ሰ፱]
- [12] → [ሰ፳]
- [24] → [ሁ፱]
- [47] → [ል፯]
- [120] → [፲፳]
- [121] → [፲፳፱]
- [122] → [፲፳፳]
- [199] → [፲፯፱]
- [975] → [፱፻፸፰]
- [500] → [፭፻]
- [536] → [፭፻፴፰]
- [601] → [፮፻፩]

例2 ([1000]以上の数値)

- [1000] → [ሸሺ]
- [1001] → [ሸሺ፩]
- [1010] → [ሸሺ፲]
- [1100] → [ሸሺ፲]
- [1985] → [ሸሺ፱፻፹፰]
- [8593] → [ሸሺ፰፻፺፫]
- [10000] → [ሰሺ]
- [10001] → [ሰሺ፩]
- [10101] → [ሰሺ፲፩]
- [11111] → [ሰ፳ሺ፲፩]
- [7654321] → [፯ሺ፮፻፶፬ሺ፫፻፳፩]
- [1000000000000] → [ሸሺሺሺ]
- [1111111111111] → [ሸሺ፲፩ሺ፲፩ሺ፲፩ሺ፲፩]

●書式2・古典的な表現 (Ahaz + ሺ + ፬ ዳ ታ)

《伝統的表現》②

1~10 [፩ ~ ፲] と 20~90 [፳ ~ ፹], および [100] [፲] の数字(Ahaz)を用います。
 [1000]倍ごとに、繰り上がりを示す[ሺ]の文字が入ります。

古い文献などに見られる、数字を文字で補う書き方を再現するものです。

複数桁の数字では、先頭の次に接続詞の[፬]が入り、末尾に発音の補助として

[ዳ](末尾が1の場合)または[ታ](末尾が2~10の場合)が付きます。

(末尾の文字は桁数などにより省略可能な場合もありますが、ここでは必ず付けています)

例1 ([1000]未満の数値)

- [11] → [፲፬፩ዳ]
- [12] → [፲፬፪ታ]
- [24] → [፳፬፬ታ]
- [47] → [፵፬፷ታ]
- [120] → [፲፬፳]
- [121] → [፲፬፳፩ዳ]
- [122] → [፲፬፳፪ታ]
- [199] → [፲፬፹፱ታ]
- [975] → [፱፻፬፸፮ታ]
- [500] → [፮፻]
- [536] → [፮፻፬፴፮ታ]
- [601] → [፶፻፬፩ዳ]

例2 ([1000]以上の数値)

- [1000] → [፩ሺ]
- [1001] → [፩ሺ፩ዳ]
- [1010] → [፩ሺ፲ዳ]
- [1100] → [፩ሺ፲]
- [1985] → [፩ሺ፱፻፹፮ታ]
- [8593] → [፰ሺ፮፻፶፫ታ]
- [10000] → [፲ሺ]
- [10001] → [፲ሺ፩ዳ]
- [10101] → [፲ሺ፲፩ዳ]
- [11111] → [፲፬፩ሺ፲፲፩ዳ]
- [7654321] → [፯ሺ፷፻፶፬ሺ፫፻፳፩ዳ]
- [1000000000000] → [፩ሺሺሺሺ]
- [1111111111111] → [፩ሺ፲፲፩ሺ፲፲፩ሺ፲፲፩ሺ፲፲፩ዳ]

1~9[𐌁 ~ 𐌉]と [10][𐌊]および [100][𐌋]を用い
 さらに[100][𐌋]が重なった新しい合成済みの文字[10000][𐌌](100x100)を用います。

20~90 の数字を用いないため Ahaz ではなく、ゲエズ数字としては特殊な書き方です。
 (アラビア(算用)数字の書き方に近く、一般には用いられていない可能性があります)

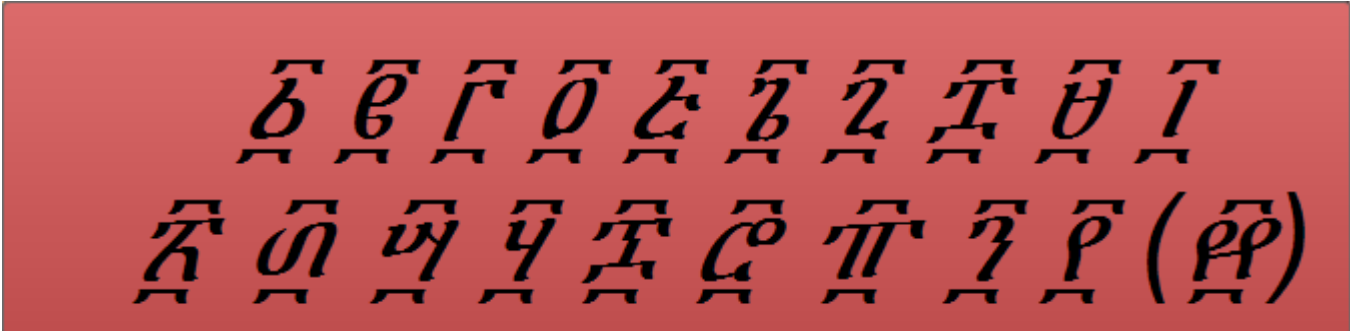
桁上りの数字 ([10][𐌊], [100][𐌋], [10000][𐌌]) は各桁に明示されます。

例1 ([1000]未満の数値)

- [11] → [𐌊𐌁]
- [12] → [𐌊𐌂]
- [24] → [𐌋𐌁]
- [47] → [𐌋𐌂]
- [120] → [𐌌𐌁]
- [121] → [𐌌𐌁𐌁]
- [122] → [𐌌𐌁𐌂]
- [199] → [𐌌𐌉]
- [975] → [𐌌𐌋]
- [500] → [𐌍]
- [536] → [𐌍𐌋]
- [601] → [𐌎]

例2 ([1000]以上の数値)

- [1000] → [𐌌𐌊]
- [1001] → [𐌌𐌊𐌁]
- [1010] → [𐌌𐌊𐌋]
- [1100] → [𐌌𐌋]
- [1985] → [𐌌𐌉𐌋]
- [8593] → [𐌌𐌋]
- [10000] → [𐌌𐌌]
- [10001] → [𐌌𐌌𐌁]
- [10101] → [𐌌𐌌𐌋]
- [11111] → [𐌌𐌌𐌌]
- [7654321] → [𐌌𐌌𐌌]
- [1000000000000] → [𐌌𐌌𐌌]
- [1111111111111] → [𐌌𐌌𐌌]



RosettaCalc
ver. 1.06
ゲエズ数字 Ge'ez

[Copyright © 2015-2020 occhann's software. All Rights Reserved.](#)